

# 選挙権年齢が引き下げられました



平成27年6月の公職選挙法の改正により、選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられ、7月の参議院議員通常選挙から適用されます。70年ぶりの選挙権年齢の見直しにより、全国では約240万人、市では約1100人（全体の約2.4割）が新たに有権者となります。

今回の特集では、日本の選挙権拡大の歴史をはじめ、法改正となった背景や年々低下する投票率などの現状を踏まえて、若い人たちが選挙に行くことの意味について考えます。

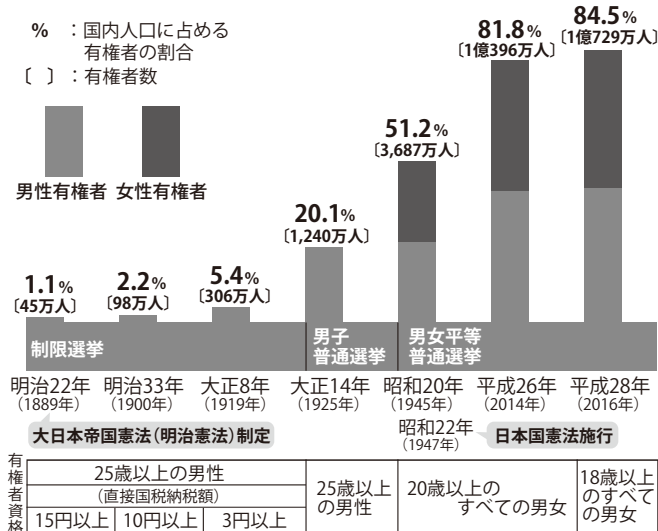
● 問合先 選挙管理委員会（☎03-202027）

## ■70年ぶりに選挙権が拡大

日本では、明治22年に衆議院議員の選挙制度ができました。当時選挙権が与えられたのは、税金を多く納めている25歳以上の男性のみ。率にして人口の約1・1割（約45万人）です。そのあと、納める税金の額が2回にわたり緩和され、大正14年に撤廃されました。そして、昭和20年、20歳以上のすべての男女に選挙権が与えられました。

それから70年たった今回、選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられました（**グラフ1**）。

【グラフ1】日本の選挙権拡大の歴史と有権者の変化



法改正の背景と選挙事情

法改正となった背景には何があるのでしょうか。また、最近行われた主要選挙における投票率・投票者数について、その特徴を見てみます。

■若年者の有権者が減少

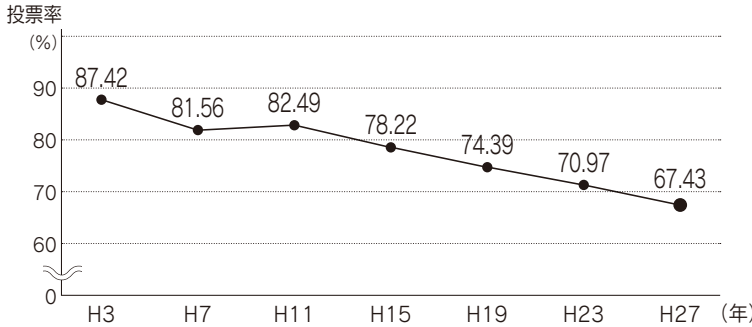
日本は、少子・高齢化、人口減少社会を迎えています。高齢者の人口が増える一方で、若年者の人口は減っています。若年者の有権者が少ないことで、若年者の意見が国や地方の政治に反映されにくくなります。そこで、未来の日本を担う10代にも、より早く政治に参画してもらうため、選挙権年齢が引き下げられたのです。

選挙権を持つことで、大人の自覚が生まれ、また、社会の担い手であるという意識を持ち、主体的に政治に関わる若年者が増えることが期待されています。

■低下する投票率

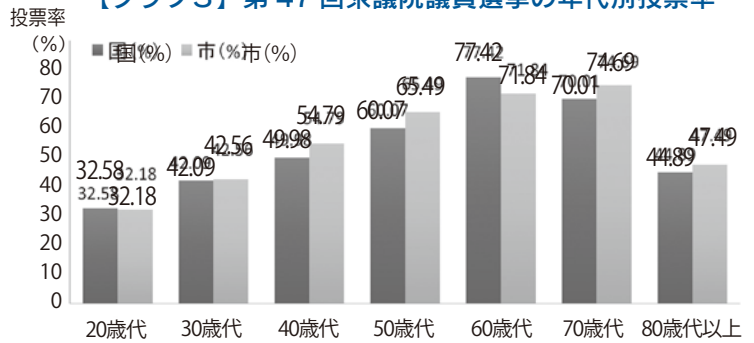
全国的に、国政選挙や地方選挙にかかわらず、投票率は

【グラフ2】伊万里市議会議員選挙の投票率の推移



低下傾向にあります。市も例外ではなく、私たちに最も身近ともいえる市議会議員選挙においても投票率は低下傾向にあります(グラフ2)。

【グラフ3】第47回衆議院議員選挙の年代別投票率



■20歳代で投票した人は3人に1人

投票率が低下傾向にあるなか、中でも20歳代の投票率は、ほかの年代と比べると最も低くなっています。

平成26年第47回衆議院議員総選挙の投票率をみます(グラフ3)。市全体の投票率は、57・17割(全国52・66割)であるのに対し、20歳代の投票率は、32・18割(全国32・58割)となっています。

世界の選挙権年齢はどうなってるの

世界191の国・地域のうち、約9割が日本の衆議院にあたる下院の選挙権年齢を『18歳以上』と定めています(国立国会図書館調べ・平成26年)。また、選挙権年齢は、ヨーロッパの国々を中心にさらに引き下げを進める動きが活発化しています。オーストリアでは、すでに『16歳以上』に引き下げられています。ドイツやノルウェーなどでは、特定の州や地域で16歳以上に引き下げられています(表)。

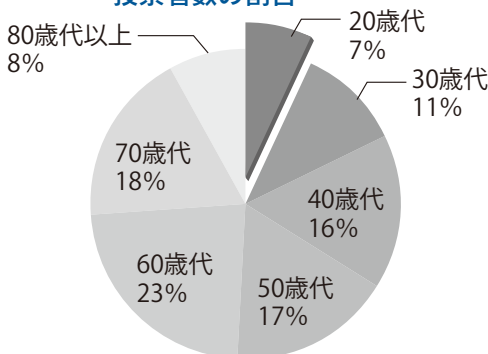
【表】世界各国・地域の選挙権年齢

25歳	アラブ首長国連邦
21歳	オマーン、クウェート、シンガポール、マレーシア など
20歳	カメルーン、日本(改正前) など
19歳	韓国
18歳	アメリカ、イギリス、イタリア、オーストラリア、カナダ、ドイツ、フランス、ロシア など多数(全体の約92%)
17歳	東ティモール など
16歳	アルゼンチン、オーストリア、キューバ、ブラジル など

■20歳代の投票者は少数派

投票者数の占める割合で見ると、最も多かったのが60歳代の23割。次が70歳代、50歳代と続きます。投票率の低かった20歳代の投票者数は、全体の7割となっています(グラフ4)。なお、平成27年市議会議員選挙では、全体の投票率が67・43割であるのに対し、20歳代の投票率は41・72割、投票者数は全体の6・56割となっています。

【グラフ4】第47回衆議院議員選挙の年代別投票者数の割合



# 18歳選挙でどう変わるの

20歳代の投票率が特に低いと言われていますが、若い人たちが選挙に行く意義は何でしょうか。新しく選挙権を得た高校生はどう感じているのでしょうか。

## ■若い人が選挙に行かないとどうなるの

政治家は、一般的に熱心に投票に来てくれる人たちの意見を聞いてまちづくりを考えます。若い世代は人口が少ないう上に投票率も低いという結果になっています。未来を担うはずの若い人たちが選挙に行かないと、若い人の意見が政治に届きにくくなってしまいます。

## ■政治のことは難しそうでも良くわからないけど

若い人たちにとって身近な教育や結婚、子育て、さらに、親の介護や、自分の老後などについて考えてみてください。若い人たちにとって住みやすいまちになっていますか。「働く場所がない。気軽に遊びにいける公園が少ない」と言った声を聞いたことがありませんか。

## ■改めて『政治』とは

私たちが豊かな暮らしを送るためには、時代に応じてより良く改革し、発展していく必要があります。その社会の達成すべき目標の設定や、解決すべき問題事項を検証し、その達成・解決のために努めていくことに政治の大きな役割があります。



18歳選挙権適用を目前に控え、5月12日、伊万里高校で3年生を対象に出前講座を開催

## ■そもそも『選挙』とは

私たちの生活や社会を良くするために、私たちの意見を反映させてくれる代表者を決めるのが『選挙』です。言い換えれば選挙をすることで、暮らしや社会づくりに参加し、その意見を政治に反映させることができます。政治と選挙は無関係ではありません。日ごろから、自分が政治の主役であるという自覚を持つて投票する必要があります。

## ■選挙権年齢の引き下げでどんな効果があるの

今回の法改正により有権者が約240万人増えることで、政治家たちは若い人たちの声に耳を傾けることとなります。特に、18歳、19歳の投票率が高ければ、若者軽視というわけにはいきません。将来の日本を担う若い人たちのために、今後の日本の政治の形が変わってくるかもしれません。

## ■新有権者にインタビュー

### ■18歳選挙権についてどう思いますか

学校の授業で習っていたので知っていましたが、自分にとっては少し早いような感じがしています。

### ■選挙のことについて家や学校で話をしますか

家では時々話しますが、学校では周りに18歳になった人が少ないのであまり話す機会がありません。

### ■選挙に行くのは面倒ですか

面倒というより、初めてなので不安があります。親から、自分でしっかり考えて投票するように言われています。

### ■政治に関心がありますか

はい、ニュースを良く聞きます。最近関心があるのは、子どもが保育園に入れないという待機児童の問題や、学生の就職問題、政治資金問題などです。

### ■選挙に行きますか

自分の大切な一票をどうするか、きちんと考えて行きます。



田中 愛梨さん(18歳)  
伊万里高校3年  
(生徒会文化委員長)

## ■選挙に関する『出前講座』を実施しています

市選挙管理委員会では、地域や学校などに直接出向き『明るい選挙』に関する出前講座を行っています。

今回の選挙権年齢の引き下げに伴い、伊万里高校のほかにも市内の高校生を対象に出前講座を行いました。



18歳到達の有無にかかわらず、新有権者となる心構えを学ぶ学生たち

選挙に行ってみよう

7月、法改正後初めてとなる参議院議員通常選挙が行われます。大切な一票です。投票前にしっかりと情報を収集し、自分で考えて候補者を選びましょう。

■選挙は情報収集から

投票する候補者を選ぶためには、事前に情報収集が必要です。情報収集は、街頭演説や政見放送をはじめ、演説会、選挙公報、インターネットを使った選挙運動（※）など、さまざまな方法があります。

候補者の考え方やマネックストなどをしっかりチェックしましょう。また、選挙のときだけでなく、常に情報収集を心がけておきましょう。

【※】平成25年4月の公職選挙法の改正により、インターネットを使った選挙運動ができるようになりました。

7月10日(日)は  
参議院議員通常選挙です

- 投票できる人 投票日の翌日までに18歳の誕生日を迎える人
  - 伊万里市で投票できる人 投票日に満18歳以上の人で、3か月以上伊万里市に住んでいて市の選挙人名簿に登録されている人（伊万里市に引っ越して来た人は、旧住所地に3か月以上住んでいた場合旧住所地で投票できます）
  - 投票時間 午前7時～午後8時
  - 投票場所 投票所入場券に記載されている指定の投票所
  - 投票に必要なもの 投票所入場券
- ※投票所入場券は、公示日ごろに郵送しています。  
※投票所入場券を忘れた場合は、本人であることが確認できれば投票できます。

■候補者を決めたら投票に行こう

投票する候補者を決めたら投票日に投票に行きましょう。投票所入場券を持参し、指定の投票所で行います。

■用事があって投票日に行けない人は

学校や部活、仕事や旅行などで、当日投票に行けない人は次のような方法で投票できます。

▽期日前投票

投票日当日に用事があって投票所に行けない人は、『期日前投票』ができます。選挙の公示・告示の翌日から投票日の前日までの期間、市が設置する『期日前投票所』で投票します。

▽不在者投票

選挙期間中に選挙人名簿の登録地以外に滞在していたり、病院などに入院していたりしている人が対象の投票方法です。出張や旅行中の人は、不在者投票の手続きをすれば、滞在先で投票できます。指定病院に入院中の人は、病院内で不在者投票ができます。

■伊万里市で行われる今後の選挙の予定

選挙執行予定時期	種類	任期満了日
平成30年4月ごろ	伊万里市長選挙	平成30年4月26日
平成30年12月ごろ	衆議院議員選挙	平成30年12月13日
平成30年12月ごろ	佐賀県知事選挙	平成31年1月10日
平成31年4月ごろ	佐賀県議会議員選挙	平成31年4月29日
平成31年4月ごろ	伊万里市議会議員選挙	平成31年4月29日

政治と選挙の意義について考えましょう



伊万里市選挙管理委員会委員長 岩永 孝雄さん

今では、普通に与えられた選挙権ですが、これまでの選挙権拡大の歴史を考えると、18歳選挙権年齢の引き下げは、民主主義の質を高める大いに意義のあるものと思います。

今回紹介した、投票率の低下、特に若年層の低投票率は明白な課題です。また、市議選の年代別投票率の推移（過去3回）をみると、20歳代よりも40歳代の減少幅が大きいという課題もあります。

投票率は、社会経験を積むことにより年齢とともに上昇すると言われています。しかし、現在の状況は、若い世代時の低い投票率がそのままスライドして投票率全体が低下する結果となっています。このようなことから、選挙権年齢の引き下げをきっかけに、若い世代の人をはじめすべての年代の人に、改めて政治や選挙の意義を考えていただきたいと思います。そして、新有権者の皆さん、最初の選挙が大切です。ぜひ投票してください。